姉妹都市交流だより

ヤーレンソーラン積丹町&香美市
～今年も北の大地で演舞～

「第17回YOSAKOIソーラン祭り」が6月4日から5日間、札幌市で開催され、大勢の観客で賑わいました。

今年は、踊り子隊と訪問団総勢41人が参加し、姉妹都市積丹町と14年連続で合同チーム「ヤーレンソーラン積丹町&香美市」（※1）を結成し、昨年に引き続き「特別招待チーム」（※2）として参加しました。

7・8日の両日は、大通公園をはじめとする札幌市内28会場で繰り広げられた本祭に参加。合同チームは高知県の「よさこい鳴子踊り」と北海道に古くから受け継がれてきた民謡ソーラン節を融合させた楽曲にのって笑顔と掛け声で元気よく踊り、チームの長年続いた参加の歴史が説明されると沿道からは感嘆の声が上がり、大きな拍手と声援をいただきました。

また、7日には宿泊先のホテルで山田太鼓伝承会の趣向をこらした演奏を前に、香美市と積丹町の交流会が行われ、姉妹都市の絆がより一層固く結ばれました。

※1　香美市30人・積丹町27人の総勢57人の踊り子が参加。

※2　合同チームは平成18年度の参加をもって解散していましたが、同祭主催者より、「香美市と積丹町の合同チームは、祭りを通して生まれた唯一の姉妹都市交流であり、祭りの財産であると考えているので、ぜひとも参加してほしい」との強い要望から、装いを新たに昨年度チームが再結成され「特別招待チーム」として参加している。

▲元気いっぱいの踊り子

▲山田太鼓伝承会も参加

▲香美市と積丹町の交流会

第3回積丹ソーラン味覚祭りへ参加 ～物流交流～

YOSAKOIソーラン祭り参加に引き続き、香美市姉妹都市友好都市交流推進協議会（西山武会長）が主体となって、毎年行われている積丹町への訪問・交流事業（6月28～30日）が行われ、7人の訪問団が積丹町を訪れました。

香美市からの参加が今年で12年目となる「味覚祭り」は、とれたてのウニはもちろん、エビ、ホタテなどが入った直径150センチの大鍋で作る浜鍋など、積丹町ならではの味覚を存分に楽しめ、夜間は納涼祭や打上花火も行われる盛大なお祭りです。

訪問団は、会場で香美市の地場産品である土佐打刃物や、辛子椎茸、柚子の関連商品を販売したほか、高知県の味覚を代表する「鰹のたたき」を販売し、客足が途絶えないほどの盛況ぶりでした。商品を買ったお客さんの中には商品を取り扱う店の連絡先を聞く方もあり、香美市の物産が北海道にも少しずつ浸透していると感じられました。

（香美市姉妹都市友好都市交流推進協議会）

▲ゆずドリンクを試飲

▲関心を集めた土佐打刃物

本会では、随時、交流活動にご賛同をいただける会員を募集しています。また、交流事業を行う際に会員になられた方へ参加者の募集を行っています。

入会に関するお問い合わせは、事務局（市役所企画課姉妹都市交流係 ☎53－3114）までお願いします。皆さまの積極的なご加入をお待ちしています。